

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成29年度高松市歴史資料館等協議会
開 催 日 時	平成29年5月26日（金） 13時30分～15時45分
開 催 場 所	サンクリスタル高松3階 第1集会室
議 題 （ 報 告 内 容 ）	（1）平成28年度高松市歴史資料館等事業実績について （2）平成29年度高松市歴史資料館等事業計画（案）について （3）その他
公 開 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	丹羽委員、田中委員、池田委員、小西委員、永安委員、太田委員、鎌田委員、松下委員、奥谷委員、馬場委員、村山委員
傍 聴 者	0人
担当課及び連絡先	文化財課 歴史資料館 電話 861-4520

会議内容

議題について報告し、次のとおり各委員から意見が出された。

議題（1）平成28年度高松市歴史資料館等事業実績について

（委員）

各館は広報活動に力を入れているのをもっとアピールすべき。

また、ホームページアクセス数をチェックするとともに、積極的に内容の更新を行い、「来館者が何を求めているか？」も調査してはどうか。

（委員）

来館者数が少なくても、内容が優れている展示等もたくさんあるので、もっとアピールしてほしい。

（事務局）

市ホームページのほか、フェイスブックなど各デジタル媒体により広報活動を行っているので、広報アドバイザーの提言も踏まえ、ホームページの充実とともに積極的にアピールしていきたい。

また、引き続きアンケート等の実施による意見集約を進め、市外・県外からの集客も目指し、インターネットミュージアム等のデジタル媒体を積極的に活用していきたい。

（委員）

子ども対象の講座等も重要だが、比較的平日に時間を取りやすい高齢者対象の講座等

を充実させてはどうか。

また、館からの一方通行的な企画ではなく、(玉藻公園にドローンを飛ばすなど)発想を転換した企画はどうか。

(事務局)

休みや休日には子ども向けの講座を企画しているが、コミュニティセンター等の社会教育部分と館の企画を調整しながら、高齢者対象の講座の充実を図っていきたい。

また、来館者アンケートの実施による意見を参考にしながら、集客が期待できる企画を検討していきたい。

議題(2) 平成29年度高松市歴史資料館等事業計画(案)について

(委員)

香南歴史民俗郷土館は、香南町関係に偏る面は仕方ないが、それ以外に高松南部をまとめていくのは、とても良いことだと思う。ぜひ進めてほしい。

(委員)

石の民俗資料館コンサートなど館の趣旨と少し違うと感じる企画も、集客や興味を持ってもらう意味で大変重要である。来館者がその行事等の内容を広めてくれるとより集客につながる。

各館が連携して、いろんな発想でいろんな企画を検討してほしい。

(事務局)

今年度から、各館輪番制で学芸員が集まり、情報交換会を行うことにした。

それぞれの専門知識をより活かしながら、企画の充実をめざしていきたい。

議題(3) その他

(委員)

歴史に興味がある子どもたちは、サンクリスタル学習を楽しみにしている。

学校ではおとなしそうな子どもでも、サンクリスタル学習では生き生きしていることがあり、ぜひ施設を利用していきたい。

また、交通手段的に保護者が同伴しないと来館が難しいと思われるので、子どもが「歴史資料館へ行きたい!」と保護者を促すような企画や夏休みに社会科の自由研究に役立つ企画を期待したい。

(委員)

施設への交通手段が厳しいと思われる。

移動博物館的なイメージで、持ち出せる収蔵品を巡回させて歴史学習の場を館外に増やすのはどうか。現物を見てもらえるような出前講座の充実を期待したい。

(委員)

歴史資料館等の事業を行うには、企画検討も必要であるが、充実させるためにはお金

も必要であるし、人も必要である。

厳しい状況であると思うが、職員等の確保も必要だと思う。

(委員)

図書館に行く子どもが、歴史資料館にも進んでいくような企画を期待したい。

(委員)

みんなが郷土に興味を持つような企画を期待したい。

(委員)

各館にそれぞれ特徴があるので、それを活かしつつ充実した運営をしてほしい。

(会長)

意見を今後の資料館運営の参考にして、より良い各館の事業の実施とともに、4館が一体となった運営に努めてほしい。

(事務局)

意見を基に、企画運営の充実を図り、さらなる集客に向け努めていく。